

拳母代表者会議からの 答申について

令和4年12月15日

めざす姿

- 山村住民の自治を尊重しつつ、都市と山村が互いにつながり、支え合うことで各地域の生活が豊かになること。



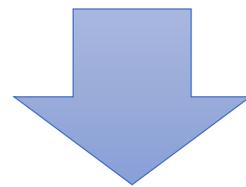
山村地域現地見学会（9月11日）で感じた山村の魅力や課題

魅力

- ・ 地域のつながりが強く、地域で生産したものを自分たちで販売するなど、地域の活性化に頑張っている
- ・ 都市部家庭では見られない五平餅等の食文化が根付いている
- ・ 獣害が深刻だが、ジビエ等として有効活用を進めている
- ・ 地域ボランティアが多く、コミュニケーションが図られている
- ・ 山を伐採して散策路として活用するなど、素晴らしい取組を実施している

課題

- ・ 魅力が多くあるが、情報として伝わっていないのではないか（プライベートで山村部に来るが、見学会の内容は初めて知ったことばかりだった…）



Point

- 都市部の市民に山村の魅力を知ってもらうために、地域でできることはないか？
- 山村の魅力を都市に還元できないか？

挙母代表者会議の答申内容

● **めざす姿の実現に向けて、地域と行政ができること、すべきことについて以下の3点について、提案します。**

- ① **都市と山村の魅力を双方が体験することにより、地域間交流を推進すること**
- ② **山村の価値や魅力を浸透させていくためのPRを促進すること**
- ③ **山村の地域資源を活用したまちづくりを推進すること**

なお、提案する取組案については、より多くの提案をすることを主に行っているため、実現性、地域と行政の役割の整理までは議論しておりません。

① 都市と山村の魅力を双方が体験することにより、地域間交流を推進すること

都市と山村の住民が地域の様々な魅力を体験し、互いの地域のことを知ることが必要だと考えます。特に都市部の子どもたちには、山村の暮らしや文化等を体験してもらうことが必要だと考えます。

● 次世代を担う子どもたちへの山村体験事業等の実施

- ・ 都市部と山村部の学校の交流事業を積極的に実施し、都市と山村のそれぞれの魅力を子どもたちに体感してもらう

【例】 元城小学校と追分小学校の交流事業のような取組の拡充

- ・ 夏休み等を活用して都市部の子どもたちへの山村暮らし体験を実施する

【例】 川遊び体験、ハイキング、山菜採り、鮎釣り、すげの里宿泊体験

● 都市と山村の自治区行事等で互いの魅力を伝える事業の実施

- ・ 既存の自治区や交流館等の地域行事等で、似たような取組やテーマをきっかけにお互いが行き来する

実施に向けた手段（例）：都市部と山村部の既存イベントの年間スケジュールを共有し、区長会の役員会等の集まりを活用して、マッチングさせる

【参考】 ・ 平芝公園梅まつり（崇化館）とつくばの里梅まつり（旭）を通じた自治区間交流

- ・ 朝日丘と旭のWあさひ交流

地域経済活性化のために、美術館周辺のウォーキング、旭の枝垂れ桃の見学会実施
朝日丘フェスタで、旭ブースを出展し、地元のお米や自然薯を販売

②山村の価値や魅力を浸透させていくためのPRを促進すること

山村の価値や魅力を、都市部住民へも浸透させていくために、都市部地域と行政が連携しながら、情報発信やイベント等を通じた様々な方法によるPRを促進すべきと考えます。

●情報発信によるPR

- ・山村体験事業等で感じた魅力を掲載したガイドブックを都市部自治区等で回覧
- ・若い世代（20～40代）に効果的に伝えるため、SNSを活用して山村の魅力を発信する
- ・山村のイメージを伝えるためのキャッチフレーズを作って魅力を発信する

●イベントを通じたPR

- ・山村の魅力を題材にした絵画や作文コンクール等の実施
【例】都市部の小中学校を対象に山村の魅力を題材にしたコンクールを実施し、作品を都市部の商業施設や公共施設等に展示
- ・山村で採れた特産物を都市部の地域イベント等で提供する機会を増やす
【例】都市部の自治区が定期的に行っているフリーマーケット等で、山村部の方々が農産物等の販売を行い、併せて山村の情報を発信する（マッチングにおいては、おいでん・さんそんセンター等がコーディネート）
- ・都市部の学校行事（バザー等）での特産物の販売や山村部の各種取組のPR
- ・都市部のコミュニティ活動や交流館活動等での山村部の各種活動のPR

③山村の地域資源を活用したまちづくりを推進すること

山村の地域特性や地域資源を生かしながら、都市部と山村部がつながり、支え合うことによって、双方の暮らしの充実につながる取組を実施すべきと考えます。

●都市部と山村部双方の暮らしの充実につながる取組の実施

- ・都市部の住民へ家庭菜園、果樹園等の農地をあっせんする仕組みの構築
- ・温泉やキャンプ等のレジャー空間に付随したサテライトオフィスやリモート学習の場の整備
- ・バイオマス、水力、地熱等の環境負荷の少ない再生エネルギーを都市部施設等へ活用することによるカーボンニュートラルの見える化
- ・移住や二地域居住促進のための、空き家情報バンク制度の積極的なPR推進
- ・山村の広大な土地を活用したラリー・モトクロス場等の整備
- ・都市部住民の有志で団体を作り、山村地域の草刈り作業等の活動の補助を行う